

一般社団法人 大阪日独協会

日独響演

響き合うチター・チェロ・ピアノ

バイエルン独日協会の理事でプロのチター奏者であるヴィリー・フーバーと、全国各地で演奏活動を展開する大阪出身のチェリスト林はるか・ピアニスト林そよかによる、バイエルン独日協会・大阪日独協会のパートナーシップ提携記念コンサート。日独文化交流の新しい幕開けが、大阪から始まります。



ヴィリー・フーバー



林 そよか

林 はるか

2019年5月24日(金) 開場 18時30分 開演 19時

会場： 東梅田教会

大阪市北区野崎町9番6号 Tel. 06-6311-8894
地下街“ホワイトウメだ”イーストモールのつき当たり、
泉の広場 M14 出入口を左方向(扇町通り)側に出て下さい。
4つ目の信号『神山』交差点を渡って右折。約50メートル。

料金： 前売り 2,000 円 当日 2,500 円



Zither Solo: Hamabe no Uta (浜辺の歌)、Sakura、Lied an den Abendstern ほか
Trio Zither-Cello-Piano: Der Weg zum Herzen (心への道)、Wien, waga yume no machi ほか
Cello-Solo: Cello Suite I BWV 1007, 1. Satz
Duo Cello-Piano: Schumann Fantasiestück (幻想小曲集)、Kojo no Tsuki (荒城の月) ほか
Piano 4 hands: Dirty Elise

Es ist eine große Ehre, dass mit Herrn Willi Huber ein langjähriges Vorstandsmitglied unserer Gesellschaft bei Ihnen auftreten wird. Die von ihm praktizierte Verbindung deutscher Zither mit japanischen Musiktraditionen ist ein sehr gutes Beispiel für die gelebte Partnerschaft zwischen Japan und Deutschland.

バイエルン独日協会理事を長年務めるヴィリー・フーバー氏が皆様のもとへまいりますことは大変光栄なことです。彼が奏でるチターと日本の音楽との伝統的な結びつきは、日本とドイツの生きたパートナーシップの好例です。

Dr. Oliver Schön, Präsident der Deutsch-Japanischen Gesellschaft in Bayern
Dr. オリバー・シェーン バイエルン独日協会会長

お問い合わせ・お申し込み

一般社団法人 大阪日独協会 事務局

大阪市中央区南本町1丁目6-20 三陽ビル6階
Tel&Fax 06-6226-7051
E-Mail info@jdg-osaka.com

プロフィール

ヴィリー・フーバー

ヴィリー・フーバーが音楽教育を受け始めたのは5歳の時でピアノを習いました。13歳の時に父からチターを習ったのですが、その美しい響きに当時から感動していました。後にミュンヘン音楽大学でピアノを専攻しましたが、さらに編曲（エンヨット・シュナイダー教授のもと）、ジャズ和声（クルト・マース氏のもと）、楽章理論（ルディ・スプリング氏のもと）を学びました。大学卒業後すぐにヴィリー・フーバーは、軽音楽とポップミュージックに根を張ることに成功しました。芸名のヴィリー・メルツで各種コラボレーション用の作品を多数発表しています。この間にもヴィリー・フーバーは、チターに対する愛情を持ち続け、ZDF（ドイツ第二放送）の青年コンクールで優勝したのを機にドイツ各地のラジオ局やテレビ局で多数のチター演奏をこなしています。



チターソロ奏者として 招聘演奏

- ・国際ハーpfestivals 大阪 日本
- ・東京上野文化会館
- ・札幌ドイツクリスマスマーケット 日本
- ・ゲーテインスティテュート モントリオールと台北
- ・音楽ミュージアム リスボンの展覧会で
- ・東京のドイツ大使館
- ・2005年愛知万博ドイツ館 日本
- ・聖トリニティ教会 ケベック
- ・KKL ルツェルン スイス吹奏楽団と共演
- ・EU 首脳会議におけるヨーロッパ中の演奏旅行

ドイツにおける文化祭やコンサートシリーズにおけるソロ演奏活動多数。ニュルンベルクの国立歌劇場でのオペラやオペレッタでの共演、野外劇場、あるいはBKアカデミーでの共演

林 はるか チェロ

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修士課程修了。
第3回大阪国際音楽コンクール、第4回日本演奏家コンクール等に入賞。
在学中の2010年に「1966カルテット」のメンバーとして日本コロムビアよりCDデビュー。2014年には英国ツアーを行い、アビイ・ロードスタジオ（ロンドン）にてレコーディング、アルバム「アビイ・ロード・ソナタ」をリリース。リヴァプールのキャヴァーン・クラブでのライブも好評を博す。
2017年より、日本コロムビアよりCDアルバム「癒しのチェロ」シリーズをリリース。多方面より話題となる。これまでに東京ニューシティ管弦楽団と共演。東京・春・音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、ショパン国際フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどの音楽祭に出演。クラシックをはじめとして、多ジャンルのアーティストとの共演、レコーディング活動等幅広く活動を展開している。



林 そよか ピアノ 作曲・編曲

東京芸術大学音楽部作曲科、同大学院音楽音響創造分野修士課程修了。大学にて同声会賞、修士課程にて大学院アカンサス音楽賞受賞。大学在学中に自身のアレンジとピアノ演奏によるCD「桜ピアノ」でデビュー、以降日本コロムビアより多数のCDをリリース。姉同様ジャンルにとらわれない音楽活動を展開。「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」の楽曲編曲、津軽三味線奏者の吉田兄弟等、様々なアーティストとも共演。奈良薬師寺食堂再興落慶奉納曲「飛鳥の四季」作曲、復興庁「新しい東北」モデル事業映画「よみがえる浪江町」等の音楽作曲・演奏。2017年には、大阪いづみホールにて自作曲「弦楽と打楽器のための“Fantasia”」が藤岡幸夫指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団により世界初演された。クラシック専門のインターネット・ラジオ“OTTAVA”にて毎週土曜日放送「Salon GUIDO」プレゼンター。

